

令和4年度第2回八潮市総合教育会議 議事録

開催日時	令和4年9月27日(火) 午後1時25分から午後3時まで	開催場所	資料館 2階 視聴覚講座室
出席者 (敬称略)	(市長) 大山 忍 (教育長) 井上 正人 (教育長職務代理者) 加藤 正道 (教育委員) 木下 史江 (教育委員) 高橋 洋一 (教育委員) 田口 理恵		
欠席者 (敬称略)	なし	傍聴者数	なし
審議内容及び 審議結果の 概要	令和4年度第2回八潮市総合教育会議 1 開会 2 あいさつ 3 議事 (1) 八潮市新設小学校建設基本設計(案)について 4 閉会		
提供資料	令和4年度第2回八潮市総合教育会議 次第 資料1 八潮市新設小学校建設に向けたこれまでの経緯について 資料2 八潮市新設小学校建設基本設計(案)に対する意見等について 資料3 八潮市新設小学校建設基本設計(案)		
事務局	企画財政部長 前田 秀明 企画財政部副部長兼企画経営課長 菊池 俊充 企画財政部政策担当主幹 四宮 鉄平 企画経営課副主幹 池淵 浩一 企画経営課主事 並木 裕之 教育総務部長 荒浪 淳 教育総務部副部長兼教育総務課長 千葉 靖志 教育総務課係長 沼田 旭人 学校教育部長 山本 誠 学校教育部副部長 高橋 大祐		

1 開会

2 あいさつ

(市長あいさつ)

3 議事

(1) 八潮市新設小学校建設基本設計（案）について

発言者	発言内容
事務局	資料1：八潮市新設小学校建設に向けたこれまでの経緯について概要及び今後のスケジュールについて、資料1に基づき説明。 資料2：八潮市新設小学校建設基本設計（案）に対する意見等について資料2に基づき説明。
発言者	発言内容
司会	資料1、2について委員から意見・質問をいただきたい。
委員	既存の各学校では水飲み場はどのくらいあるのか。
事務局	各学校によるが、概ね2クラスに一つある。
委員	小空間はカームダウンエリアのほかに、どんな使い方を考えているのか。
事務局	女子の着替えの場、教員の相談スペースとして活用予定である。
教育長	生徒指導等のトラブル対応時にも活用を考慮している。
委員	配膳室付近のエレベーターのドアは、2方向開閉可能か。
事務局	コロナ禍により部品の調達が難しく、コスト面や納期を考慮すると、ドアは1方向とする予定である。
委員	保健室の外に洗い場があればよいと思う。
事務局	保健室入り口（外）に洗い場があり、保健室内にもユニット付きのものを設置予定のため、けがをした際など、直ぐに洗うことができる。
委員	図面で、屋外体育倉庫の隣にトイレと記載がある。PTA等は屋外イベント時に外のトイレを使うので、設置してもらいたい。
事務局	屋外トイレの設置を想定しているが、場所については検討中。
委員	防火扉等の災害時に必要なものは想定しているか。
事務局	建築基準法、消防法を考慮しながら詳細は検討する。
委員	グラウンドの敷地内は貯水池となるのか、体育館を1階としているが、浸水への対応はどのように考えているか。
事務局	一時的に雨水等を貯めることを想定している。体育館は道路の地盤面から1m高くすることを想定している。
委員	1mで足りるか。

事務局	利根川の氾濫、中川の氾濫等、想定される水害は色々考えられるが、利根川の氾濫は、発生頻度が数十年に1度との想定があることから、防災部局と協議した結果、中川の氾濫を想定して1mとした。
教育長	校庭の高さと道路の高さは同じか。
事務局	側溝の高さに合わせることで調整中である。
市長	利根川、江戸川が氾濫すると市内全域が浸水するが、その場合は体育館ではなく、校舎を一時的な避難場所として活用するなど、臨機応変な対応について検討していきたい。 市民へも垂直避難を周知していくことが必要と考えている。
委員	太陽光パネルの設置規模や、活用方法としてどんなことを想定しているのか。
事務局	現状10kW供給を想定しており、1,500W×3～4か所のコンセントで使える程度である。太陽光発電は、発電量が日射に左右されて一定ではなく、単独の電源とするには不安定であるため、災害時に当該電力のみの供給となった場合は、スマホの充電のための利用等を想定している。平時については、東京電力の通常電源と併せて、当該電力を活用することを想定している。
委員	屋上にエアコンの室外機を置くとのことだが、その上に太陽光パネルを設置できないか。
事務局	室外機の上から排気するので、重ねることはできない。
委員	屋上に室外機を置くことで、近隣への音の影響はどうか。
事務局	室外機の音は、距離が離れば減衰するので、影響は少ないと考えている。
委員	屋上にプールを設置するが、近隣のマンションから見えてしまうのではないか。
事務局	潮止中学校北側のマンション1か所以外に高い建物はなく、プール北側は区画整理で公園が設置されると聞いている。プールの目隠しは、マンションから見えない程度を考えている。
司会	次の議題に入りたい。
事務局	資料3に基づき説明。 施設建設委員会等でいただいた意見を反映し、各フロア4か所に水飲み場を設置するようにしたい。
司会	資料1～3の全体を通じた質問、意見をいただきたい。
委員	男子トイレの出入り口の向きは変更できないか。また、1か所当たりの便器の数はどれくらいか。
事務局	トイレの場所は現状案で進めていく予定だが、出入り口の向き等は今後検討する。便器の数は、児童数の想定に合わせて決めたい。

教育長	低学年と高学年で便器の高さが異なるため、取り外しができる補助台付きの便器の設置も検討の余地がある。
委員	図面だと、配膳室の廊下側に扉がない。草加市は配膳室の廊下側に扉があり、その扉に鍵がついていた。
市長	衛生面を考慮するとその鍵の対応はよいと思われる。
事務局	扉の形態は、引き戸など配膳車が入り出することを考えて今後検討する。
委員	配膳室に窓などを設けるのか。
事務局	衛生害虫の侵入が懸念されるので、外向きのシャッター等の内側に網戸が必要と担当課から言われている。
委員	設計方針5の中に木材利用の推進とあるが、どの程度の利用を想定しているか。
事務局	床のみ木造を考えているが、費用面を考慮して範囲は検討中である。木製の扉は、他市を視察した際に、10数年程の使用の割に損傷が激しかったため、導入は現状考えていない。
委員	駐輪場のスペースはあるのか。
事務局	駐輪場は敷地の北側を考えている。緑地面積の関係など、関係法令を確認しながら、できる限りスペースを確保していきたいと考えている。
司会	ハード面以外で、教育の目的等、事務局から説明してほしい。
事務局	潮止中学校からの動線を例えば、「はばたきロード」と名付けるなどして、そこを通過して中学生もはばたきルームのスペースを有効活用できるように、小中の交流の場となることで、中学生は小学生の手本となるように、小学生は中学生にあこがれるよう、小中一貫教育として、モデル校となるようにしていきたい。
委員	廊下にベンチと本棚があり、児童同士で勉強を教えあう等、学校全体が学びの場になればよいと思う。中学生の書道や絵などを掲示するのもいいと思う。
委員	小学校と中学校の交流として、例えば陸上競技や吹奏楽での交流ができると思う。
委員	新設小学校は全体的に開放的に感じられ、楽しく通える学校だと思う。今後、市内の各小中学校を建て替えたりする際の参考になるとよい。
委員	校舎に設置する車いす対応のエレベーターを給食配膳と兼用で設置することについて、問題ないのか。
市長	衛生管理上問題が無いように、消毒を徹底する等ルール作りを検討することが重要である。
事務局	その都度消毒を行う等、衛生管理をしていきたいと考えている。
教育長	衛生管理を徹底していくことが重要である。

司会	ハード面、ソフト面を問わず、新設小学校に期待することをお聞かせいただきたい。
委員	新設小学校の児童は、潮止中学校の児童にあこがれ、中学生は小学生の手本となるようになってほしい。オープンスペースなどを活用してのびのびと育ててほしい。
委員	子どもたちが楽しく通学できる場になればいいし、地域との交流や地域活性化につながればよいと思う。
委員	入学して良かったと思ってもらえたらいいし、先生方は、新設校の設備を有効活用してもらいたい。
委員	小中一貫教育の分離型から一体型に近づき、モデルケースとなる。児童が楽しく過ごせることを期待している。
市長	これまでの分離型小中一貫と比べて、新設小と潮止中は距離が近く、小中一貫のモデルになるものと考えている。小学校、中学校がそれぞれから刺激を受けることになる。笑顔で通える学校を期待している。
教育長	すばらしい校長・教員を配置して、すばらしい学校にしたいと考えている。

4 閉会

以上